



山武市立
成東東中学校
進路だより
第2号

日々是精進

2021年
5月20日発行
文責：進路指導主事
川島 哲

先日、第1回校内テストの出題内容を発表しました。進路だよりの前号でもお伝えしましたが、どの教科も1・2年生で学習した内容が多く出題されます。実際に範囲を確認して、「こんなに範囲が広いんですね」、と驚く人もいました。

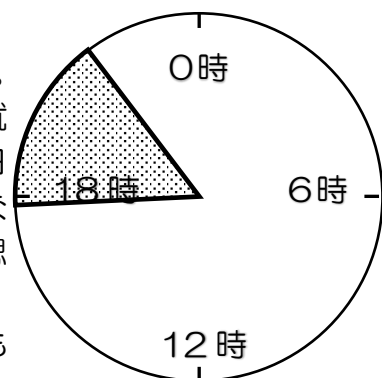
確かに、生徒の皆さんが普段受けている定期テストと比べると、校内テストは非常に広い範囲から出題されます。勉強するにも戸惑うかもしれません。しかし、本番である高校入試では、3年間で学習した内容の全てが出題範囲となります。少しずつでも、1・2年生の復習を進めておきましょう。今から続ける日々の積み重ねこそが、希望の進路実現への最短ルートです。

〇時間は『つくる』もの

中学生が、1日の中で、自由に使える時間はどれだけあるのでしょうか。右の図は、一つの例です。放課後、部活動に参加する場合、帰宅から就寝までの数時間が、当てはまるのでしょうか。実際は、夕食や入浴、日によっては習い事などもあり、本当に自由な時間は、思ったよりも少ないのかもしれません。そんな限られた時間で、やりたいこと全てに、思う存分に取り組むことができるでしょうか。

現在、「時間がない、足りない」、と感じることはないでしょうか。もしそう感じているなら、一度、自分の時間の使い方を書き出し、見直しを試みてはいかがでしょうか。何かの時間から5分ずつ割り振るだけでも、新たに15分～30分確保することが可能です。それだけあれば、単語や漢字の書き取り、計算練習をすることもできるでしょう。

しかし、時間の使い方を見直すことについて、注意点があります。それは睡眠時間をしっかり確保することです。中学生にとって、十分な睡眠は、疲労回復だけでなく、体の成長にも必要です。そして、勉強にとっても重要です。睡眠不足では集中力が低下してしまうこともあります。さらに、脳は、夜寝ているときに、その日に学んだことや練習したことを整理するといわれています。勉強の効果を高めるためにも、睡眠時間を削ることがないように気を付けましょう。



■の部分で自由に使える可能性のある時間。

『先生方の受験体験記』掲載

この進路だより第2号より、本校の先生方の受験にまつわる体験記を掲載していきます。様々な年齢、出身の先生方がいて、また、教員という仕事に就くまでに様々な道を通ってきた方もいます。勉強への取り組みかたはもちろん、進路選択の際の悩みや、困った経験も、様々なケースがあるようです。皆さんが、進路選択をする際の参考になれば幸いです。

初回であるこの第2号では、相川校長先生、岩沢教頭先生の受験体験記を掲載しています。ぜひ裏面をご覧ください。

学校見学・体験入学のお知らせ

詳細な案内は、2階廊下に掲示します。

電話・Webでの予約については、各高校のホームページ等を検索し、確認してください。

○千葉明德高校 夏休み体験入学会

第1回 7月25日(日) 9:30～12:00

第2回 8月10日(火) 9:30～12:00

第3回 8月21日(土) 9:30～12:00

※6月1日よりWeb予約開始

○中央自動車大学校 高等課程

実習体験 学校説明会

7月25日(日)、31日(土)、8月7日(土)

8月22日(日)、10月24日(日)

～ 相川校長先生の受験体験記 ～

高校入試は 1980 年台前半、戦後のベビーブームを除けば、一番子どもの数が多かった時期で、どこの高校も学年 8～10 クラスありました。それでも高校進学を希望する生徒の数が多いので、公立高校に進学できず私立へ進学する生徒、高校へ進学できなくて職業訓練所に進学する生徒、就職する生徒、そして進路先未定の生徒と様々でした。

「受験戦争」という言葉がすでに存在し、学校で実施される実力テストが毎月あり、偏差値で受験校を判断していました。実力テストでは、志望校別に全県の志望者数と順位まで結果が出たので、自分が希望する高校で、何番目にいるのか一目瞭然でした。

バスと電車で都会にある遠い学校にするか、畑の中を自転車で通う田舎の近くの学校か迷いましたが、部活動をするのに時間を無駄にしたくなかったので、田舎の学校を選びました。

同じ中学校から同じ高校に進学する生徒は 3 人しかおらず、当然新しいクラスに知り合いは誰もいない状態でのスタートになりました。しかし、みんな同じ環境だったので、すぐに部活動を中心に友人が増えて、楽しい学校生活を送ることができました。

～ 岩沢教頭先生の受験体験記 ～

あれは確か、39 年前のことです。

こう見えてもお花屋さんの長男であった私の人生の大きな分岐点は高校入試でした。

母親からは、花屋を継ぐか、自分の好きな進路を選ぶかどちらかにしなさい。そう言われた少年は、自分なりに考えました。

1 花屋を継ぐ。その場合は、東金商業に行って商業の勉強をする。もしくは、両国の生花市場に行って修行する。

2 夢であったサッカー部の顧問になるため体育の先生になる。その際は当時郡内で一番強い成東高校に行く。ただし、不合格ならば市場で働く。

自分の決断は「2」を選択し、当時の点数は到底成東高校に届く点数ではなかったので部活動が終わった後、必死になって勉強をしました。

勉強方法は、無駄な金はないといわれ、塾には行かず、5 教科の参考書をとにかく 3 回繰り返し学習する。毎日 5 時間勉強（各教科 1 時間）。眠くなったら腕立て伏せ 50 回、腹筋 100 回。そのまま寝てしまったこともあり。

時間帯としては、睡眠時間は 6 時間をキープし、6時から 12 時までの 6 時間の活用で、その中の 1 時間を夕食と入浴時間とし、平日はその繰り返しを実行。土日は、9 時間勉強（午前中 3 時間・午後 3 時間・夜 3 時間の計 3 時間）。時には、早くて寝て、深夜 1 時ごろから勉強を始めたときもありました。

集中した学習を 6 ヶ月継続した結果、点数的に 150 点 UP（自己採点）を実現させ、見事の合格をつかみ取りました。勉強のし過ぎで今日は勉強しないと決め、自転車で成田山までサイクリングに出かけたときもありました。時にはリフレッシュ！

受験期を乗り越えて、今思うこと！

中学生期は、本気になれば達成・実現できるものがたくさんある。ちなみに今まで合格できなかった試験は、調理師免許試験です。素敵な 15 の春を迎えましょう。